

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		排水機場操作管理事業		担当課	道路河川課	担当係	河川係	管理番号	4143	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市排水施設管理規則				
	小項目	4	治水対策の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		大雨・台風時の内水を河川へ排除し、内水氾濫を防ぎ湛水被害の軽減及び農地の保全を図るため、維持管理及び操作を適切に行う。なお、七間堀・豊里東部・明戸北部排水機場は県営かんがい排水事業、柳原排水機場は備前渠川の築堤工事に伴う機能補償としてそれぞれ整備された。この他、県が管理する清水川排水機場の操作を埼玉県から深谷市が受託している。								
目的 ※何のために		浸水・湛水被害の軽減								
対象 ※誰・何を対象に		排水機場								
手段 ※どのように		施設の運転操作や場内除草等の業務を行う。 設備類の点検・整備・維持管理を行う。								
成果 ※何を求めるか		内水（宅地側）の排水を適切かつ円滑に行う。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	8	土木費	3	河川費	2	施設管理運営費	市管理排水機場操作管理事業	27,412,364
		一般会計	8	土木費	3	河川費	2	施設管理運営費	県管理（清水川）排水機場操作管理事業	2,224,553
		一般会計	8	土木費	3	河川費	2	施設管理運営費	県管理（清水川）排水機場操作管理事業	1,000,000
本事業の 主な業務		・排水機場施設の維持管理							・	
		・排水機場施設の運転							・	
		・排水機場施設の整備							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		基幹水利ストックマネジメント事業 負担金（豊里東部）	基幹水利ストックマネジメント事業 負担金（豊里東部）適正化事業に伴う補修工事	基幹水利ストックマネジメント事業 負担金（豊里東部）適正化事業に伴う補修工事	・維持管理	・維持管理 ・適正化事業に伴う補修工事	・維持管理 ・適正化事業に伴う補修工事
事業費	予算（現額）	134,904,000	61,441,000	74,653,000	22,855,000	31,710,000	33,839,000
	決算額	127,035,566	56,814,860	61,581,817	22,197,892	30,636,917	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	1,230,000	6,662,000	5,041,877	2,110,000	8,528,800
		地方債	103,800,000	35,000,000	36,000,000	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	22,005,566	15,152,860	20,539,940	20,087,892	22,108,117	24,727,000
人件費	従事職員数（人）	1.31	1.31	1.21	1.43	1.43	2.33
	人件費相当試算※	10,190,490	10,194,420	9,511,810	11,878,560	11,099,539	18,946,041
総事業費試算		137,226,056	67,009,280	71,093,627	34,076,452	41,736,456	52,785,041

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	維持管理する排水機場数	目標値	箇所	4	4	4	5	5	5	
		実績値		4	4	4	5	5	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		維持管理を行っている現在の排水機場実数 / 現在管理を行う排水機場数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	排水機場設備機械の点検回数	目標値	回	16	16	16	21	22	22	
		実績値		16	16	16	21	22	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		排水機場設備機械の点検回数（月点検＋年点検）合計値 / 排水機場設備機械の点検数を計る							
	実績値の算出式									
成果指標 1	排水機場設備類点検において、修繕を要する指摘箇所に対する対応	目標値	%	100	100	100	100	100	100	
		実績値		100	100	100	100	100	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		修繕を要する指摘箇所については、全てに対応することが適正なため、目標値は100 / 対応箇所／指摘箇所							
	実績値の算出式									
成果指標 2	大雨・台風時における排水機場のトラブル件数	目標値	件	0	0	0	0	0	0	
		実績値		0	0	0	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		各排水機場において、トラブルを発生させないことが適正なため、目標値は0を設定 / 当該年度の実績トラブル発生実績							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	設備機械の点検については計画通り実施し、5箇所全ての排水機場の適正な維持管理に努めることができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	修繕を要する箇所について全て対応し、その結果、稼働時のトラブルは発生せず、適正な運転操作を行うことができた。
			評価者 係長 松本 拓陽

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	各排水機場への監視カメラの設置を令和2年度に実施したことにより、現地へ行くことなく、専用アプリによりどこからでも状況を手軽に確認できるようになり、水害時に確認のため現地向かう時間が削減された。また、各自が自主的に機場の状況を確認するといった意識向上へもつながった。その他、通報装置が各機場へ設置されていることにより、機械の異常についても自動送信される体制が整えられている。
			評価者 河川係 松本 拓陽

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	排水機場操作管理事業	担当課	道路河川課	担当係	河川係	管理番号	4143
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div> <div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div> <div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div>		評価の内容説明					
		本業務は、浸水・湛水被害軽減のため必要不可欠であり、日頃から各排水機場の適切な維持管理及び操作訓練を実施しているところである。 令和3年度は、機場の点検も滞りなく行い、県支出金を活用し修繕も計画的に行われた。機場の運転にまで至る事例はなかったが、適正な維持管理が行われていると判断できることから、今後も現在の水準を維持すべく、「現状のまま維持」とした。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	道路河川課長 今井 吾郎				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

